

閉店した農協スーパーに「商工会ふれあい市場」をオープン  
 高齢者等地域住民への買物支援を実施

## 沼隈町商工会

機関名	沼隈町商工会		
所在地	広島県沼隈郡沼隈町大字草深1891-6		
電話番号	084-987-0328		
地域概要	(1)管内人口 13千人	(2)管内商店街数 1商店街	
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数 1商店街	(2)会員数 64商店	
	(3)空店舗率 18%	(4)大型店空き店舗数 0店	
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. <u>近隣型商店街</u>		

### 【事業名と実施年度】

平成15年度 空き店舗対策事業 活性化対策事業

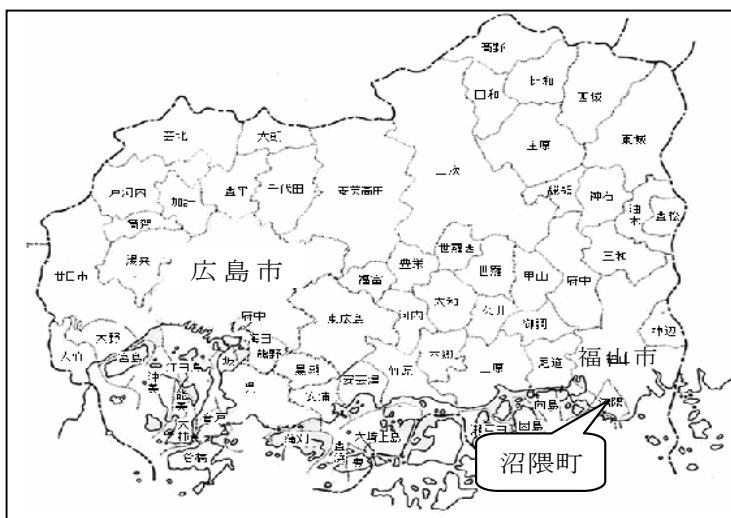
- ・元農協スーパーの空き店舗に「商工会ふれあい市場」を設置・運営
- ・同市場でのイベント実施

総事業費 18,478千円

### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

沼隈町は、広島県の東南部、瀬戸内海沿いに位置し東と北は福山市、西は尾道市、南は海を隔てて内海町に接している。福山市の中心商業地には車で20分の距離にあり沼隈町は福山市の商圏にのみこまれ、特に、買回品の流出は多くなっている。近年、ホームセンター、食品スーパー、衣料スーパー、などが相次いで沼隈町草深地区の同一地域へ出店し、新しい商業集積地が形成された。特に、草深地区商店会においては、新しい商業集積地に客を奪われ、売上高の大幅な減少、後継者難、事業意欲の希薄化や共同意識の低下により、商業活動は低調になり、草深地区商業地の衰退は深刻な状況にあった。



沼隈町の位置（広島県HPを加工）

本事業では、沼隈町の草深地区商業集積地の中心に位置する農協スーパー千年店を、地

域商業者等による共同店舗として活用し、商業集積地の核店舗として地域住民、特に、中高齢者の日常生活の支援、並びに雇用機会の創出を目的に実施された。

## 2. 事業概要

実施主体である商工会は、計画的かつ効率的な事業実施を図るため中小商業活性化事業運営委員会を設置し、草深地区商業振興のための農協スーパー店舗の有効活用事業実施計画・運営計画を定めて、事業計画に従い実験的的事业を実施した。また、利用施設の運営・管理については、専門家を含めた専門委員会を設置し、運営・管理システム等を策定した。

以下の運営組織を設立し、「商工会ふれあい市場」の運営・管理を行った。「宅配サービス事業」「困りごと相談事業」「広島県特産品の展示・販売コーナー設置運営事業」は事業運営委員会が実施した。

商 号 有限会社ぬまくま商工振興事業団（平成 15 年 5 月 22 日設立）  
 出 資 金 500 万円  
 出資者数 31 名（商工会会員）

### (1) 「商工会ふれあい市場」設置運営事業

- ①中高齢者ための店舗づくり
- ②「ふれあい」や「にぎわい」のある市場としての雰囲気づくり
- ③原則として全商品を委託販売方式で(有)ぬまくま商工振興事業団が管理した。
- ④地域特産品、一般食料品、日用雑貨品、衣料品、菓子類、生鮮 3 品、農具・ガーデニング用品、介護関連用品等を取り扱った。
- ⑤実施状況

平成 15 年 7 月 1 日オープン

16 事業者が出店し、地域中高齢者のためのお店として「安心」「安全」「健康」をキーワードに、こだわりの商品を提供することとして取り組んだ。



商工会ふれあい市場



商工会ふれあい市場 店内

月別商品区分別売上高表（単位：千円）

	委託商品	農協受託商品	ゴミ袋等	イベント等	計
7月	6,502	1,054	439	644	8,639
8月	4,181	995	505	328	6,009
9月	4,281	1,879	653	102	6,915
10月	3,672	1,539	711	101	6,023
11月	2,606	153	483	331	3,573
12月	5,728	2,219	834	305	9,086
1月	1,998	1,088	660	112	3,858
2月	2,539	1,666	313	32	4,550
3月	2,953	1,590	896	138	5,577
計	34,460	12,181	5,494	2,093	54,231

(2) 「商工会ふれあい市場」 イベント事業

- ①備後地域商工会フェアの開催
- ②地域内商店フェアの開催
- ③草深地区商店会との共同イベントの開催

(3) 中高齢者等へ「事業機会の場」の提供

- ①地域内の中高齢者が生産した特産品・工芸品等の展示・販売を行い新商品のアンテナショップ的機能支援により新規創業への展開に努めた。
- ②ひろしま夢ぷらざ等への紹介：開発された特産品等をひろしま夢ぷらざをはじめ県内アンテナショップ等に紹介して特産品等の販路拡大に努めた。

(注) 「ひろしま夢ぷらざ」とは、広島県内の市町村情報センターで、県内各市町村の観光、特産品等の情報提供のほか、特産品の販売、各市町村交替のイベントの開催等を行っている。広島市の中心部に所在する。(広島市中区本通8-28)

(4) 宅配サービス事業

- ①地域内中高齢者を対象とした宅配サービスを行った。
- ②ふれあい市場での取扱商品以外のものについても、地域商業・サービス業者との連携により対応できる利便性の高いサービスシステムを構築した。
- ③実施状況

来店者の9ヶ月利用件数は106件、電話によるもの302件、その他(ファックスや契約等)338件であった。そのうち中高齢者の利用状況は約50%で、チラシ広告により周知を行った。配達を必要とされた商品は、お米、スイカ、野菜、贈答用ぶどう、お餅、野菜の苗が主なものであった。

(5) 困りごと相談事業

- ①中高齢者の生活支援のために「困りごと相談員」を配置して相談、斡旋、紹介の事業を実施した。
- ②地域商工業者等との連携により相談者の要望に対応するためのシステム作りを行う。

## ③実施状況

沼隈町の相談件数（9ヶ月）が518件、内海町92件、その他4件で、一日当たりの相談件数は2～3件であった。相談内容をみると「タクシーの手配」が約400件と大きな割合を占めている。続いて「宛名書き」の順で、当初想定していた物販、修理、改装の依頼は極端に低く「自転車・バイクの修理」依頼が数件あったにとどまっている。これは、スーパー店舗内が相談場所で落ち着いて相談を受ける雰囲気にならないうことやシルバーセンター・福祉介護等の公共機関が先進的な充実した活動を実施していることに起因するものと考えられる。

## (6) 広島県特産品の展示・販売コーナー設置運営事業

①ひろしま夢ぷらざとの連携により広島県特産品等の展示・販売を行った。

②広島県内商工会地域の紹介やイベント実施により交流人口の増大や経済効果の拡大に努めた。

## ③実施状況

「ひろしま夢ぷらざ」との連携により取扱地域11市町村で、16事業所の商品を「商工会ふれあい市場」において展示・販売した。月別販売額をみると、最低販売額71,000円から最高販売額229,000円となっている。数値的にみると貢献度割合は低いと見られるが、ファンは確実に増加しておりファンの中には福山市から来店し購入されている商品もある。これらの商品は「商工会ふれあい市場」を特徴づける強力なマグネット商品である。また、販売額に含まれていないが東城町の生鮮野菜や特産品の販売を週2回定期的に販売し大きな成果を上げている。

## (7) 談話コーナーの設置

高齢者のために「談話コーナー」を設置して「情報交換」や「語らいの場」の提供を行った。

## 【 効 果 】

## 1. 来街者の行動

定期的なイベントの実施により、来街者の増、特に中高年の方の来街が増加した。

## 2. 経営改善への取り組み

消費者ニーズへの対応や売れ筋商品の研究等ふれあい市場の経営革新への熱心な取り組みが行われるようになった。

## 【 課 題 ・ 反 省 点 】

## (テナントミックス事業)

## 1. 運営組織体制の強化

経営組織と出店事業者・スタッフの店舗運営に対する連携機能がうまく噛み合わないために、お客様へのスピーディな対応ができない状況であった。本事業は従来の個人プレー的経営から脱却し協同組織経営を目指すものであるが、そうした運営形態への十分な理解を得られなかったこと、会社の経営方針がスタッフ・出店者に伝達不十分であっ

たことなど、組織運営にも課題が生じた。こうした状況は、委託商品販売額の月別売上高が大きく変動していることを見ても客層を掴み切れない実態をうかがうことができる。

そのためには、まず運営組織体制の強化・充実を図る必要があり、お客様のニーズに素早く対応できる小回りの効いた組織体制の確立が第一である。組織強化の方向としては経営者と出店者・スタッフのパイプ役となる支配人的立場の人材を配置して、中高齢者の悩みや痛みの解る支配人のもとに、ふれあい市場の名前にふさわしいサービス提供を前面にした事業展開の推進に努めるべきである。

## 2. 効果的なイベントの企画

地域住民と連携した催事イベントや商工会のネットワークを活用した商工会フェアイベントの実施等、大型店等の価格競争を避けた「話題性」「楽しさ」「ふれあい」「こだわり」「市場」をテーマにした多彩なイベントの継続的实施に取り組む必要がある。実施にあたっては、企画立案力が重要で推進組織体制の整備が急務である。

## 3. 事業費の確保

運営会社は委託販売手数料を財源としているが、前掲のように組織体制の強化、効果的なイベントの実施等により集客力を高め、必要売上高を確保する必要がある。しかし、現状では事業が軌道に乗るまでの間、補助金等の支援が必要である。

### (宅配サービス事業)

#### ・固定客の増加策

中高齢者から気軽に配達依頼を受けるためには取扱商品の品質、価格、品揃えの充実等による「ふれあい市場」の信用と信頼関係構築が第一条件である。具体的な取り組みとしては、会員制度の導入、宅配専用カタログの作成、売り出しチラシの配布、定期的な巡回御用聞きの実施等を行い固定客増加に努める必要がある。高齢化社会に対応した宅配事業は、必ず地域住民に受け入れられるものであり中高齢者の日常生活を支えるためのボランティア的支援体制の確立を考える必要がある。

### (困りごと相談事業)

#### ・地域住民等との連携

困りごと相談事業は、中高齢者の「暮らしの応援」を目指すもので、日常生活を安心して暮らせるための支援体制を確立させる必要がある。この事業を推進するためには、「商工会ふれあい市場」関係者だけの取り組みには限界があり、地域住民、特にシニア層との連携が必要と思われる。事業目的・内容を明確にするとともに専従スタッフの配置と事業内容の周知を図ることが大切である。地域商工業者との連携については、趣旨に賛同する事業者の組織化が必要であり、相談事業に特化した別組織による取り組みが不可欠である。

「商工会ふれあい市場」は、中高齢者が気軽に立ち寄れるサロンの雰囲気の話話コーナーを充実させることにより、来店者同士の談笑の場としての活用や茶菓子のもてなし等により親しみとふれあいの場としての事業展開を行う必要がある。

(県内特産品等の展示販売事業)

・PR

県内特産品コーナーは「商工会ふれあい市場」の強力な武器であり、今後取扱商品を増大させ話題提供を行うことが大事である。さらに商工会ふれあい市場で広島県の特産品を販売していることを十分周知するためのPR活動も定期的を実施する必要がある。

【 関 連 U R L 】

沼隈町商工会 <http://www.hint.or.jp/~numakuma/>

沼隈町役場 <http://www.town-numakuma.jp/>